

大場規之市長(左)に図書
の目録を手渡す卒業生
代表(袋井市役所で)



静岡理工大の卒業生 記念に図書67冊寄贈

袋井市図書館に

静岡理工科大(袋井市豊沢)を今春卒業する第二十八期卒業生が市役所を訪れ、卒業記念として市立図書館に図書六十七冊を贈った。

市内の子どもたちに理工系分野の楽しさを知ってもらおうと、寄贈図書は「パブロフくん」と学ぶはじめてのプログラミング」のぞいてびっくりノ顕微鏡」全三巻など理系に関する図鑑や参考書が中心。卒業生らから寄付を募り、購入した。卒業生を代表して中村章吾さんと峯尾海成さんが来庁。「四年間私たちを温かく見守っていただきありがとうございます。」この図書が市民にとって有意義になることを願っています」とあいさつし、大場規之市長に目録を手渡した。大場市長は「貴重な書籍をいただき、とてもうれしく思う。市民、特に子どもたちのために活用させていただきませう」と感謝していた。(土屋祐二)